

◆「LRRRI ニュース」 2023 年 5 月号◆

★「役員 & 会員だより」令和 5 年 5 月号をお届けしました

4 月号は、最近話題の「Chat GBT」に関する内容です。安原代表理事が執筆しました。HP に掲載されていますのでご一読ください。

★「エルリ塾」は順調です

令和 4 年度は「エルリ塾」として、a. 「基礎地盤・土構造物講座」の第 8 回目が 5 月 12 日に終了しました（演題：「地盤改良・補強」、岸田隆夫講師担当）。第 9 回は 6 月 14 日（演題「地盤環境対策：土壌汚染と廃棄物」、小林薫講師担当）の予定です。「ICRT & DX 講座」も 4 月 25 日に第 6 回（演題：「インフラ分野における DX システムの考え方」、玉井久嗣講師担当）を終了いたしました。第 7 回（演題：「インフラ分野における DX の取り組み（1）」、山田岳峰講師担当）は 5 月 30 日の予定です。

★「第 3 回技術者講座」が終了しました

令和 5 年 5 月 17 日と 24 日に、（一財）土木研究センター様と共催で、標記の講座を開講しました。総合タイトルは、「インフラ強靱化に関する最近のトピックス」でした。66 名のご参加をいただきました。

★創設 3 周年記念フォーラムを開きます

本法人は令和 5 年 7 月 1 日をもって設立 4 年目に入りますが、3 周年を記念して、三村信男・茨城大学名誉教授（前・茨城大学学長）をお迎えして別紙のようなフォーラムを開催いたします。非会員の皆様のご参加もお待ちしております。

（一社）地域国土強靱化研究所「創設3周年記念フォーラム」のご案内

～「低炭素社会と建設関連分野の役割」～

代表理事 安原 一哉
副代表理事 岸田 隆夫
副代表理事 須田 裕之

2020年7月1日、地域から国土の強靱化を展開していくことを目的にして創設されました一般社団法人「地域国土強靱化研究所（LRRI）」は、新型コロナウイルスのパンデミックに遭遇する困難な中でも、皆さまのご理解とご協力によって着実に活動し、成果を構築することができました。

4年目の冒頭に当たり、この3年間を省みると共に、とりわけ“気候変動”を念頭に置いた“低炭素社会”形成に資するための今後の技術や施策の展開を期して、下記の通り、7月7日（金）、講師に三村信男茨城大学名誉教授（茨城大学前学長）をお迎えして、会場とオンラインによる“ハイブリッド形式”で「創設3周年記念フォーラム」を開催いたします。

会員、および関係者の皆さま（非会員も歓迎です）のご参加をお待ちいたしております。

記

◆日時：2023年（令和5年）7月7日（金）（14:20～16:50）（受付開始 14:10）

◆参加形式：会場とオンラインの併用による“ハイブリッド形式”

・（会場）茨城大学駅南サテライト <https://www.ibaraki.ac.jp/generalinfo/campus/ekinan/index.html>
（茨城県産業会館（茨城県水戸市桜川 2-2-35）2F）

・オンライン参加の場合は、後日、お申込みの方にZoomのURLをお送りします。（通信開始 14:15）

◆参加料：無料

◆プログラム（司会：副代表理事・岸田隆夫）：

①記念講演（60分）：（オンライン講演者：三村信男 茨城大学名誉教授）

演題：「低炭素社会と建設関連分野の役割」（仮題）

② 話題提供（40分）：“低炭素社会に向けた取り組みに関する話題”

1) 元・国交省&山梨大学 末次忠司 「流域治水の立場から見た気候変動」

2) 榊福山コンサルタント 大塚宣昭 「グリーンインフラを活用した低炭素まちづくり」

3) 飛鳥建設(株) 沼田敦紀 「木材の緩和策への利用」

4) 鹿島建設(株) 山田岳峰 「カーボンネガティブと地域の防災・減災対策」

*講演と話題提供の資料は、事前にご参加予定の皆様に配信させていただきます。

③ディスカッション（50分）（司会：代表理事・安原一哉）

◆共催：地盤工学会関東支部（予定）

◆後援：茨城県建設コンサルタンツ協会、茨城県地域気候変動適応センター（予定）、土木研究センター（予定）、GLOSS 研究会

◆CPD ポイント：地盤工学会関東支部から2.5 ポイント賦与されます。（予定）

◆参加のお申込み：＜別紙＞申込用紙を下記事務局あてお送りいただくか、別途お送りするgoogle formからお申し込みください。（締切り 6月26日（月））。

【お問合せ先】LRRI 事務局：staff@lrri.or.jp 米川恭子

以上

